

年度 2008 学期 後期	曜日・校時 木・1	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	総合英語 II/ Comprehensive English II		
対象年次 1年	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	D16・17	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 上村 俊彦 /Eメールアドレス:yandi@sun.ac.jp /研究室: 非常勤控え室 /TEL: 813-5500 /オフィスアワー:木曜日開講時間の前後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: オーセンティックな英語(英語母語話者による英文テキスト、ナチュラルスピードで録音された音声教材)を用いて、英語の4技能(読み、聞き、書き、話す)の習熟のためのトレーニングを行う。</p> <p>授業方法: 英文テキスト概要の把握や内容理解をするための Scanning や Skimming、英語による発信語彙の習得のための vocabulary building、英文テキストの listening、テキスト内容についての英語による Question and Answer などを中心に授業を進める。</p> <p>授業到達目標: 大学生、社会人として必要とされる英語の基礎力を習得する。センテンス・ベースの訳読重視を改め、パラグラフの構造、テキストの情報構造(旧情報と新情報)などに習熟し、テキスト全体の要旨を理解する英語の理解力を習得する。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週の授業内容を含む)(1300文字)</p> <p>授業内容(概要)</p> <p>Common European Framework of References (CEF B1 レベル)の英語教材を使い、受講者の4技能「読み」、「書き」、「聞き」、「話す」をバランスよく高める授業をおこなう。これまで学んだ英語の文法や語彙を使って、英語で発信する能力(話したり書いたりする力)を伸ばすための演習(教材テキストを用いて、topic sentence や key words 探し、shadowing などの演習を含む)をおこなう。</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 Living conditions, Occupations 第3回 Music, Fashion 第4回 Places, Sports and Hobbies 第5回 Weather, Environment 第6回 Health and fitness, Public services 第7回 Transportation, Travel 第8回 前半学習内容の整理(中間試験を含む) 第9回 Shopping, Food 第10回 Education, Technology 第11回 Crime, People 第12回 The media, Movies 第13回 Review 1 & 2 第14回 Review 3 & 4 第15回 学習のまとめ</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Emery, S. Et al. <i>Outlook 3</i> Thomson & Heinle		
成績評価の方法・基準等	中間試験 40% 期末試験 40% 課題レポート 10% リスニング試験 10% (所定の出席回数を上回った学生のみを評価の対象とする)		
受講要件(履修条件)	テキスト音声教材を録音した CD を配布予定(媒体実費程度の負担が必要)		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	英語辞書(電子辞書も可)を、毎回持参すること。		